マンション等への電気自動車(EV)用充電設備の普及拡大に向けた「無料相談会」

京都市 環境政策局
地球温暖化対策室

本日の流れ

〈第１部〉 14:05～15:00

・（京都市）EV及び充電設備の普及と今後の動向（１5分程度）

・充電サービス事業者による事業紹介（各社５分程度）

① ユビ電
② ユアスタンド
③ エネチェンジ
④ テラチャージ

〈第２部〉 15:00～16:00 （第１部終了後）

・各社によるEV充電設備の設置に向けた無料相談会（個別相談可）

（京都市）EV及び充電設備の今後の動向（15分程度）

【1】EVの普及状況と今後の動向について

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

【1】EVの普及状況と今後の動向について

電気自動車(EV)の普及は

まだまだ先の話…？

【1】EVの普及状況と今後の動向について

各国は「新車販売の100%を電動車化する」と宣言している

	電動化等の目標
	イギリス 2035年販売　EV･FCV：１００％
	EU（欧州連合） 2035年以降 ≒ EV･FCV：１００％ ※合成燃料のみで走行する内燃機関を搭載する車についても一定条件下で新車販売を容認
	アメリカ 2030年販売 EV･PHV･FCV：５０％
	中国 2035年販売 EV･PHV･FCV：５０％
	日本 2035年販売 EV･PHV･FCV･HEV：１００％ ※東京都は、2030年に前倒しての達成を表明

出典）https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/e_fuel/pdf/002_05_00.pdf

首相「３５年、新車全て電動に」

経済 ｜ 朝刊経済面

毎日新聞 ｜ 2021/1/23 東京朝刊 有料記事 1656文字

菅義偉首相は１
２０３５年までに
て「電動車」とす
年までに二酸化炭
効果ガスの排出量
向け、政府が２０
けで走る新車の販

朝日新聞デジタル ＞ 記事

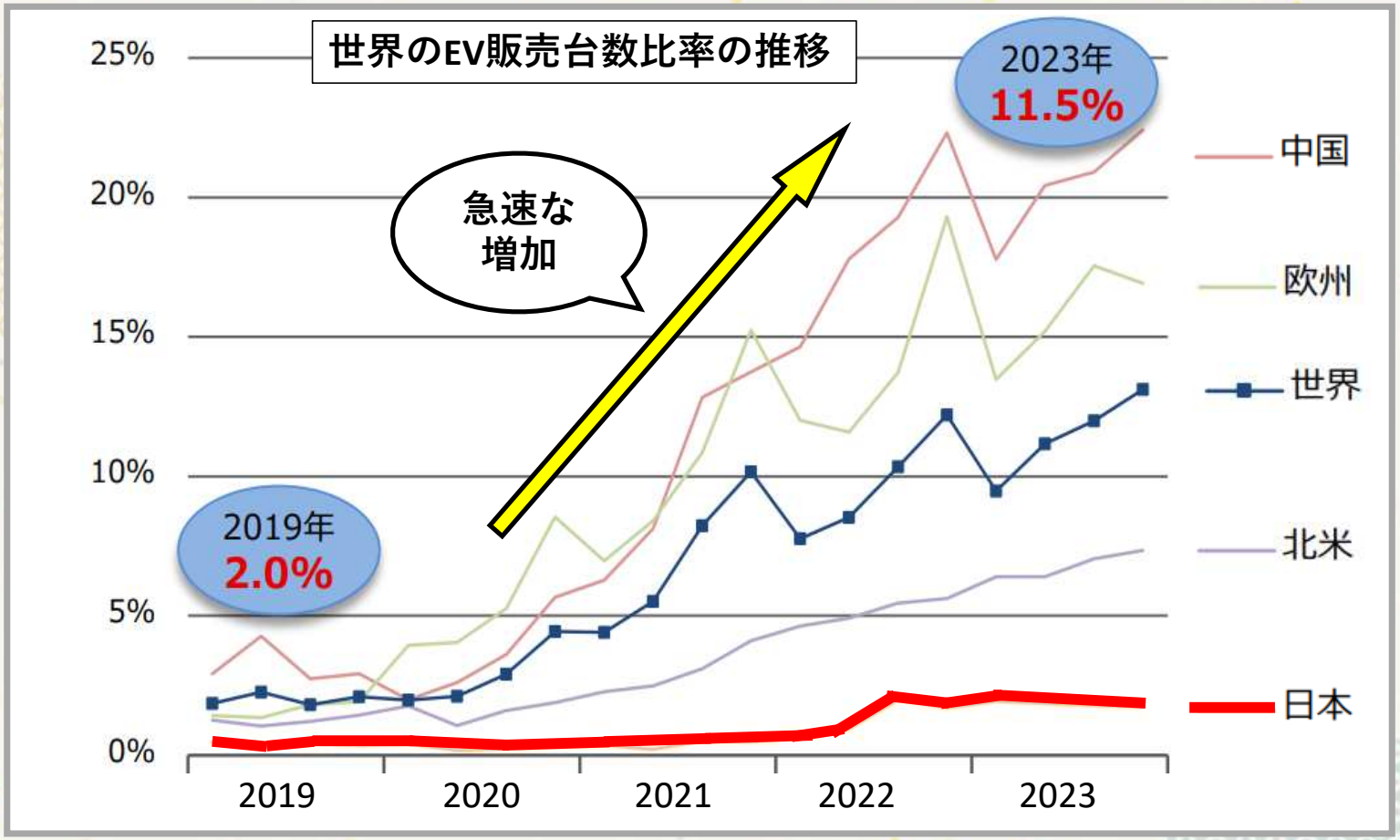
東京都も2030年までに「脱ガソリン車」

長野佑介　2020年12月8日 20時06分

出典）https://www.asahi.com/articles/ASND86HJ0ND8UTIL04C.html
出典）https://mainichi.jp/articles/20210123/ddm/008/020/130000c

【1】EVの普及状況と今後の動向について

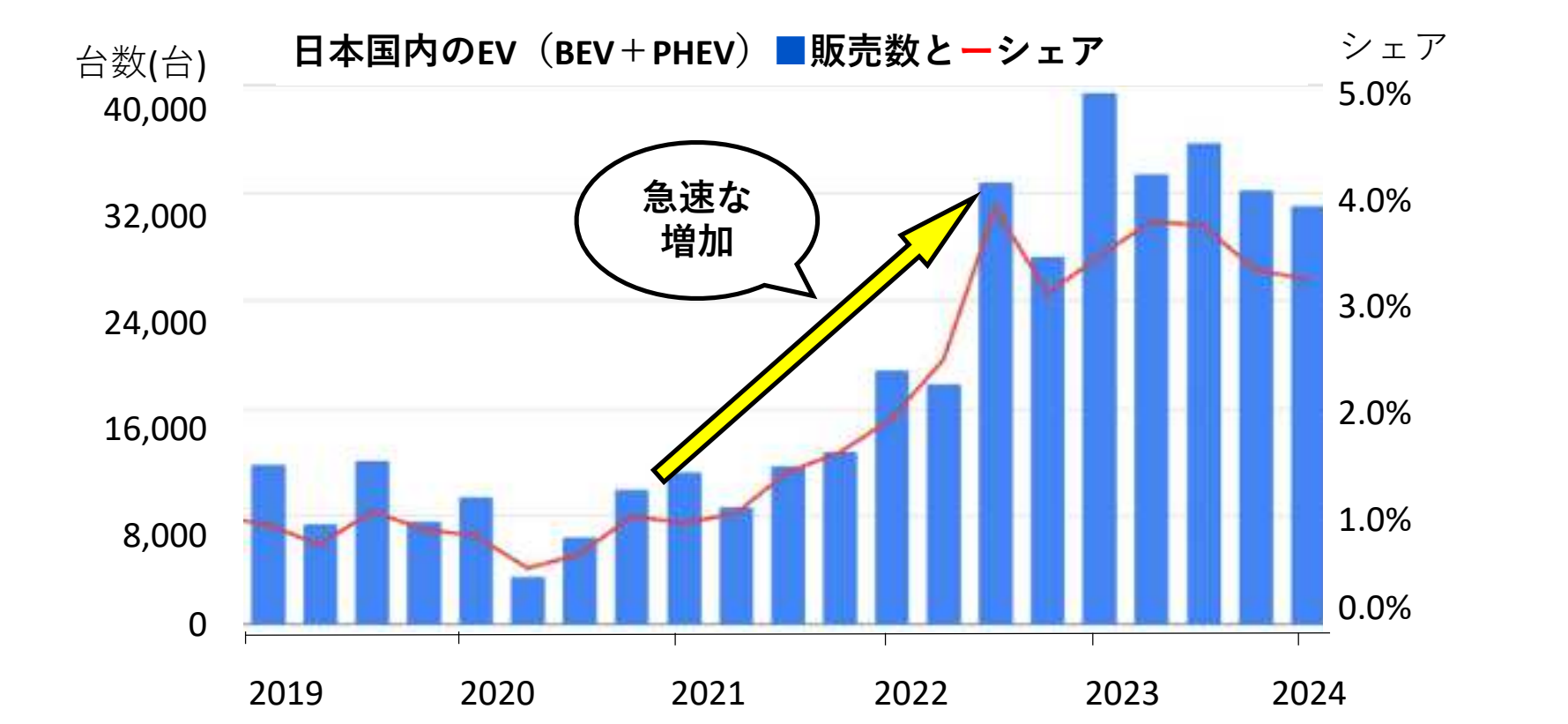
世界的にも、上下動はあるもののEV普及の流れは加速している…日本は？



出典） https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/jido_soko/r6dxjimukyokushiryou2.pdf

【1】EVの普及状況と今後の動向について

日本でもEV新車販売シェアが急速に拡大中



出典）https://blog.evsmart.net/ev-news/electric-vehicle-sales-in-japan/

【1】EVの普及状況と今後の動向について

EV購入時の補助金は大幅に引き上げられている！

令和４年度（2022年）

クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金
令和３年度補正予算額 375.0億円

＋

クリーンエネルギー自動車導入促進等補助金
令和4年度予算案額 155.0億円

=530億円!

令和５年度（2023年）

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金
令和４年度補正予算案額 700 億円

＋

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金
令和５年度予算案額 200 億円

=900億円!

令和６年度（2024年）

クリーンエネルギー自動車導入促進補助金
令和5年度補正予算案額 1,291 億円

=1,291億円!!

→ 補助金が大きく後押しすることで、
日本においても更にEVシフトが進む見込み

出典）https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/cev/r4hosei_cev_infrastructure.html

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

そして、EVの普及には充電設備が不可欠

（でも、充電設備ってどういうものなの？）

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

EV充電の分類は、大きく分けて以下の３つ

① 自宅等での基礎充電

：自宅、マンション、月極駐車場 など

特に、既存マンション
での設置が遅れている

自宅充電がE Vのメリット

・夜間に駐車場で充電できるため、
毎朝勝手に満タン！！

（スマートフォンの充電と同じイメージ）

② 移動途中での経路充電

：高速道路、ガソリンスタンド など

③ 目的地での目的地充電

：商業施設、レジャー施設、ホテル など

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

新築マンションでは充電設備の導入は始まっている

資産価値の向上

DAIKYO
AN ORIX COMPANY

大京、駐車場のEV充電を標準に
新築マンション対象

2022年5月3日 2:00 [有料会員限定]

保存

【記事の一部を抜粋】

『今後開発する分譲マンションにおいて、電気自動車(EV)充電コンセントを、空配管を含め**全駐車区画に標準設置することを決定**しました』

『**駐車区画数の50%にEV充電コンセントを標準設置**するとともに、残りの駐車区画には、**将来的にEV充電設備の増設が可能な空配管を設置**する』

出典）https://www.daikyo.co.jp/news/dev/files/20220506.pdf
出典）https://www.nikkei.com/article/DGKKZO60507220S2A500C2TB0000/

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

EV充電設備の補助金も大幅に引き上げられている！

うち充電設備の補助金

令和４年度（2022年）

クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金
令和３年度補正予算案額　65　億円

➡ ６５億円!

大人気！
２ヶ月で
終了

令和５年度（2023年）

クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金
令和４年度補正予算案額　２００億円

＋

クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金
令和5年度予算案額　１００億円

➡ 175億円!

令和６年度（2024年）

クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金
令和5年度補正予算案額　４００億円

＋

クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金
令和６年度予算案額　１００億円

➡ 360億円!!

→ 補助金が大きく後押しすることで、
更にEV充電設備の設置が進む見込み

出典）https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/cev/r4hosei_cev_infrastructure.html

【2】充電設備の普及状況と国の補助金

国の補助金はとても充実している

充電インフラの執行について（（合計360億）令和5年度補正・令和6年度当初予算案）
1　事業実施時期の平準化を目的として、合計3回（3月、5～6月、８～９月）に分けた募集を実施。
2　先着順ではなく、一定の基準に基づき受付案件を決定

※ 工事項目ごとに補助上限額があります。

設置費用イメージ例（マンション／平置き駐車場の場合）※4

費用項目	コンセントタイプ(4基)		ケーブル付タイプ(1基)	
	費　用	補助額	費　用	補助額
充電設備※1	4万円	2万円	30万円	15万円
充電設備設置工事費※3	150万円	150万円	100万円	100万円
合　計	154万円	152万円	130万円	115万円
持ち出し費用	2万円		15万円	

出典）https://www.cev-pc.or.jp/lp_evphvcharge/

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

でも、既存マンションへの設備導入って

ハードルが高いんでしょ…？

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

よく耳にする課題（既存マンションの管理組合さんから実際にいただいた御意見）

・まだ**EVユーザーは少ない**
・今後もまだ**EVを買いたい人は少数派**

↓

・そんななか、**高額な設置費用を捻出する必要**があるのか
・**EV保有者と非保有者の公平性**が保てないのではないか
・組合の総会で**承認を得られるのか**

↓

・まだ組合の**総会で議論するには時期尚早か…**
・検討はもうちょっと先送りにしようか…

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

でも実際は…！

・もう既に**EVユーザーは増え始めている!**
・世界の動向をみても、今後市場が拡大することはほぼ間違いない

↓

・そんななか、**国の潤沢な補助金**で**低負担での設置が可能!**
・**充電料金は利用者負担**とできるため、公平性が担保される
・組合の負担も少なく、**承認を得るハードルはそこまで高くない**

↓

・現状維持では、新築マンションとの差がひらいてしまう
・今こそ組合内で検討を始め、**補助金等の活用を議論するタイミング!**

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

どうやって導入を進めればいいの？

1 **情報収集**
インターネットで検索する、相談会に参加するなどして情報を集めます

京都市では
・無料相談会を開催！
・マンションアドバイザー派遣も実施！

2 **検討**
充電設備の設置イメージ、電気料金の招集方法について検討します

3 **現地調査/見積り**
設置場所、充電設備の種類、設置台数などを決定します

4 **総会での提案/審議**
充電設備であれば「普通決議」で付議できます

5 **工事契約/補助金の申請**

6 **完成/運用開始**

3 ～ 5
（手続きなどが大変）

充電サービス事業者のサポートが受けられます！
（詳細は次ページ）

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

充電サービス事業者を利用すれば様々なサポートが受けられます！！

- ○ 設置場所の検討 ／ 現地調査 ／ 設置計画の作成
- ○ 見積書の作成
- ○ 管理組合員での議論 ／ 総会での承認 ／ 予算立て
- ○ 工事スケジュールの調整 ／ 工事契約 ／ 設置工事
- ○ 補助金の申請事務

→ **各社が全面サポート!**

- ○ 工事完了 ／ 運用スタート
- ○ 充電設備の維持管理（ 故障 ／ 修理対応など ）
- ○ 苦情や使い方についての問い合わせ等への対応

→ **運用事務は各社が全面実施!**
（基本的に無償対応）

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

（最後に参考情報）

ウチのマンションに合う充電設備はどれ？

【3】既存マンションへの充電設備設置に係る課題

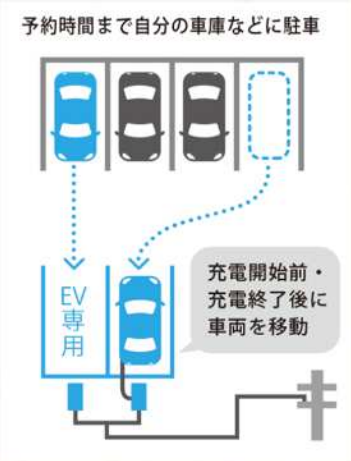
充電設備の設置方法は大きく分けて２タイプ

① みんなでシェア型（共用部への少数設置）

・EVが少ないうちはこれでも対応可能

・スタンド型の設備と相性がよい

・少数設置で済むが、１基ずつの値段が高い（～数十万円）



スタンド型

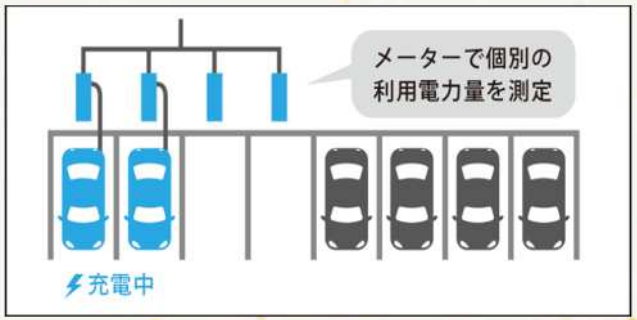
② それぞれ個別設置型（契約駐車場の各区画に設置）

・将来的にEVが増えても、

適宜、コンセントを増やすなどで対応可能

・コンセント型の設備と相性がよい

・設置数は多くなりがちだが、１基ずつの値段は安い（数千円～）



コンセント型

出典）https://ev-stand.jp/ev_chargers_list/panasonic/

出典）https://www.cev-pc.or.jp/lp_evphvcharge/

本日登壇いただく４社は
それぞれ得意とする分野も異なるため、
各社のサービスを比較いただき、
各マンションさまに合った充電設備の
設置方法をご検討ください

お知らせ

【本事業の目的】

・本事業は、EV用充電設備の設置に取り組む既存マンションから先進的な設置事例を創出していくことを目的としているため、充電サービス事業者さまへの御相談内容（概要）を、本市に情報共有いただくことを想定しております。

【マンションアドバイザー派遣】

実際に現地を訪問し、マンションへのＥＶ充電設備の導入に向けて、中立な立場で助言等を実施。（営業活動等は行いません）

・相談内容：設置工事の内容、補助金の説明、他の集合住宅での設置事例　など

・相談料：無料　（先着１０件）

・お問い合わせ先：有限会社ひのでやエコライフ研究所（京都市委託先）

問合せフォームはこちら→